

【目的】

3年に1度、岡山城・岡山後楽園を中心とした歴史文化エリアで、世界最先端のコンセプチュアルアートを展示する国際現代美術展「岡山芸術交流」の開催を通じて、官民協働による新たな魅力づくりや岡山市の新たな都市ブランドの構築、若年層のまちづくりへの参加促進等を図ります。

【内容】※詳細検討中

参考：岡山芸術交流2025

「歩いて楽しむ」「資源を活かす」「世界を見る」「人を育む」の4つをコンセプトに、以下の本展・プログラムを実施しました。

○現代アート展

アーティスト・ディレクターを中心に作品制作・会場選定を行い、会期中の展示等を行いました。

○パブリックプログラム

県内の小・中・高等学校の来場の支援を行い、来場時の鑑賞を深めるため、ナビゲーターを公募・養成し、対話型鑑賞を実施しました。

○アーティストック・トランスレータープログラム

アーティストならではの新しい視点で市民・県民を巻き込むプロジェクトを実施しました。

○連携プログラム

現代アートに関するものに限定せず、展覧会を盛り上げていくために官民等と連携し各種プログラムを実施しました。



「岡山芸術交流2025」実施の様子